

柏崎刈羽原子力発電所

敷地近傍及び敷地の追加調査計画（案）

平成26年 1月24日

東京電力株式会社

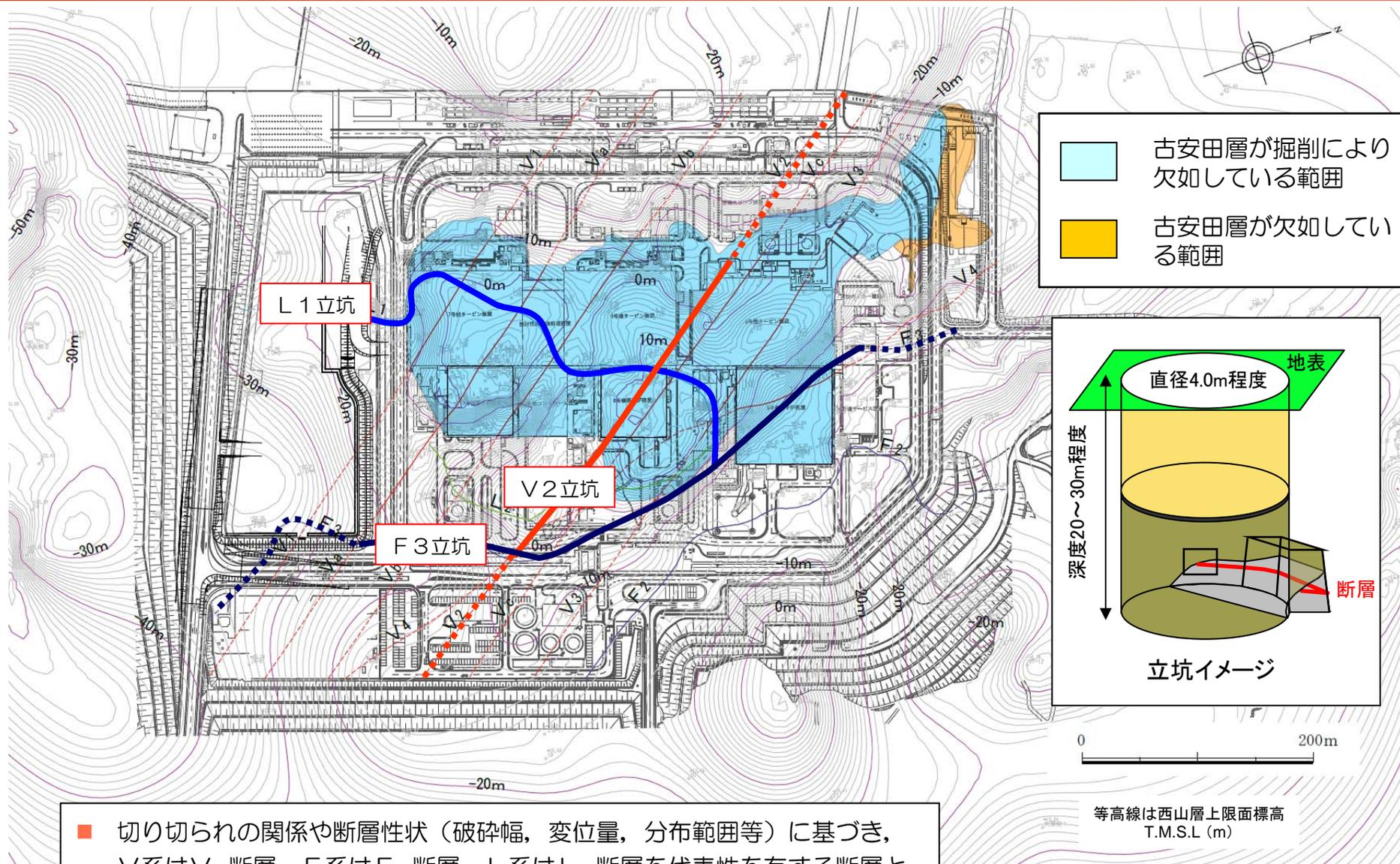


東京電力

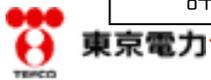
【指示事項】

- 敷地内の断層の活動性をトレンチ調査などによって直接確認するために、上載層があって掘削可能な地点を選定して提示すること。場所は、敷地の内外を問わない。

敷地内地質調査計画（案）（大湊側）

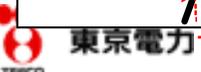
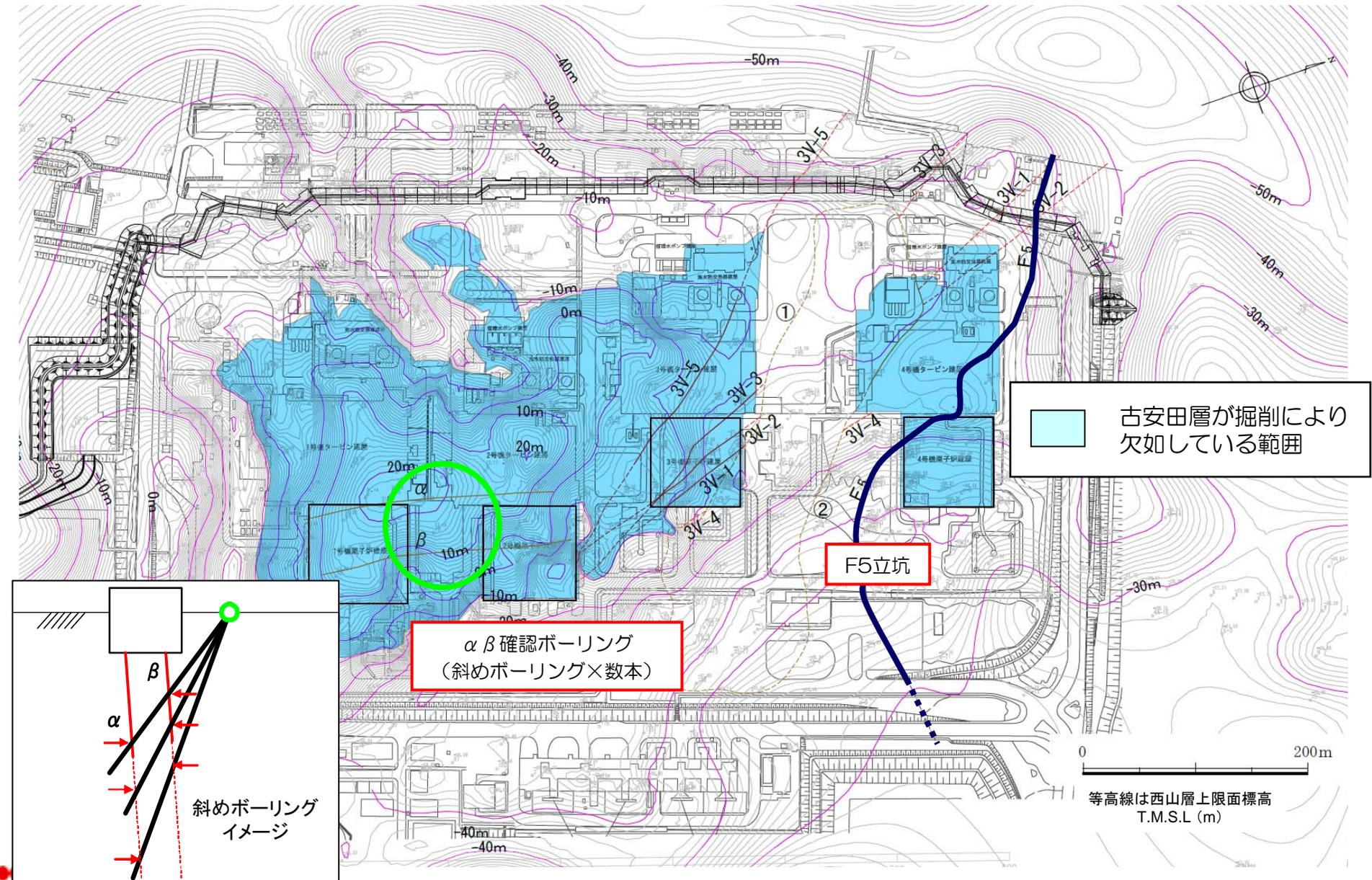


■ 切り切られの関係や断層性状（破碎幅，変位量，分布範囲等）に基づき，V系はV₂断層，F系はF₃断層，L系はL₁断層を代表性を有する断層と評価し，これらの延長部の施工可能な位置を選定。



※現地の状況に応じて，詳細な調査位置・数量等については変更する可能性がある。

敷地内地質調査計画（案）（荒浜側）

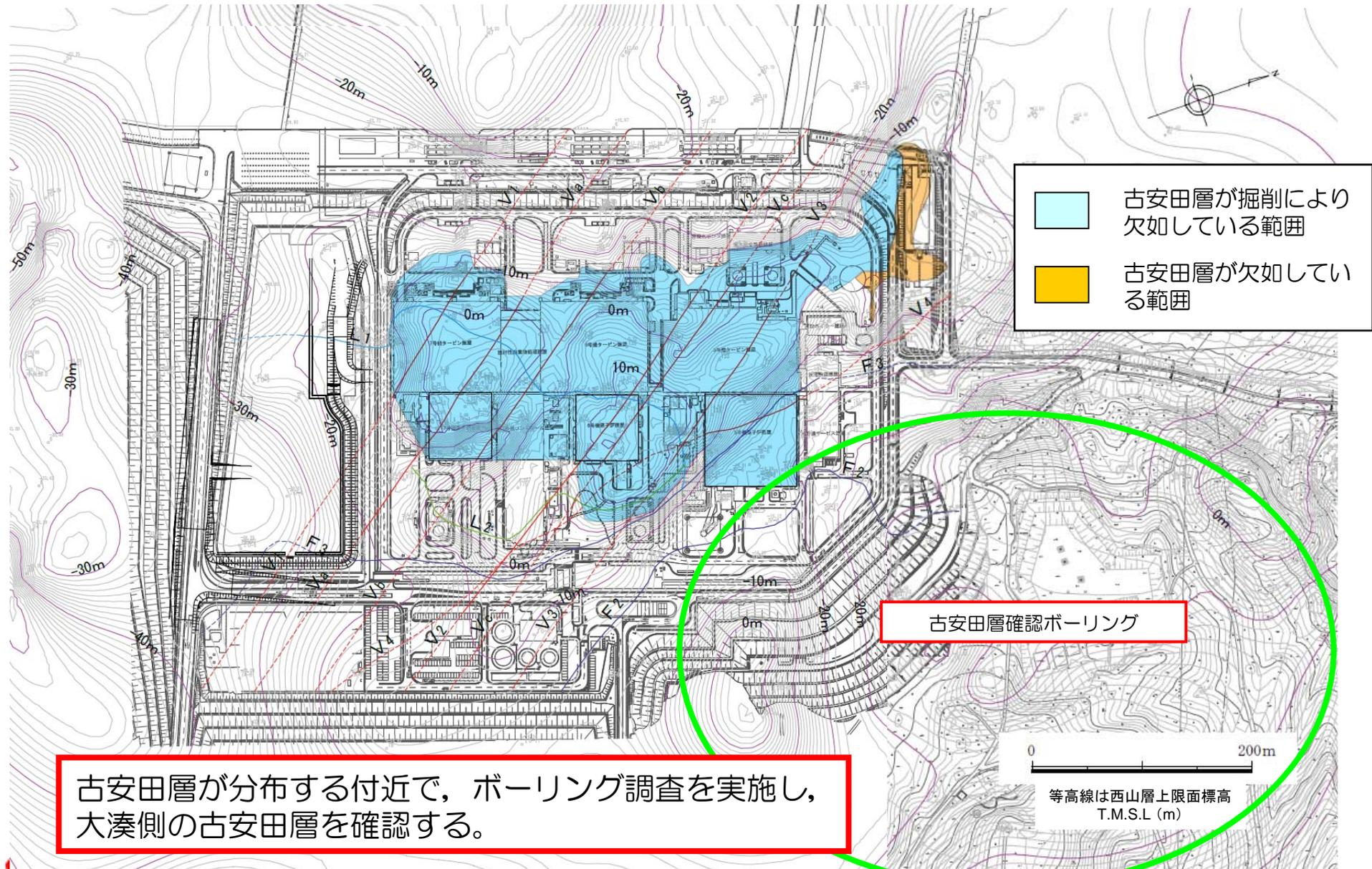


※現地の状況に応じて、詳細な調査位置・数量等については変更する可能性がある。

【指示事項】

- 大湊側においても古安田層の年代特定のための追加ボーリング計画を検討すること。

古安田層堆積年代特定調査計画（案）（大湊側）

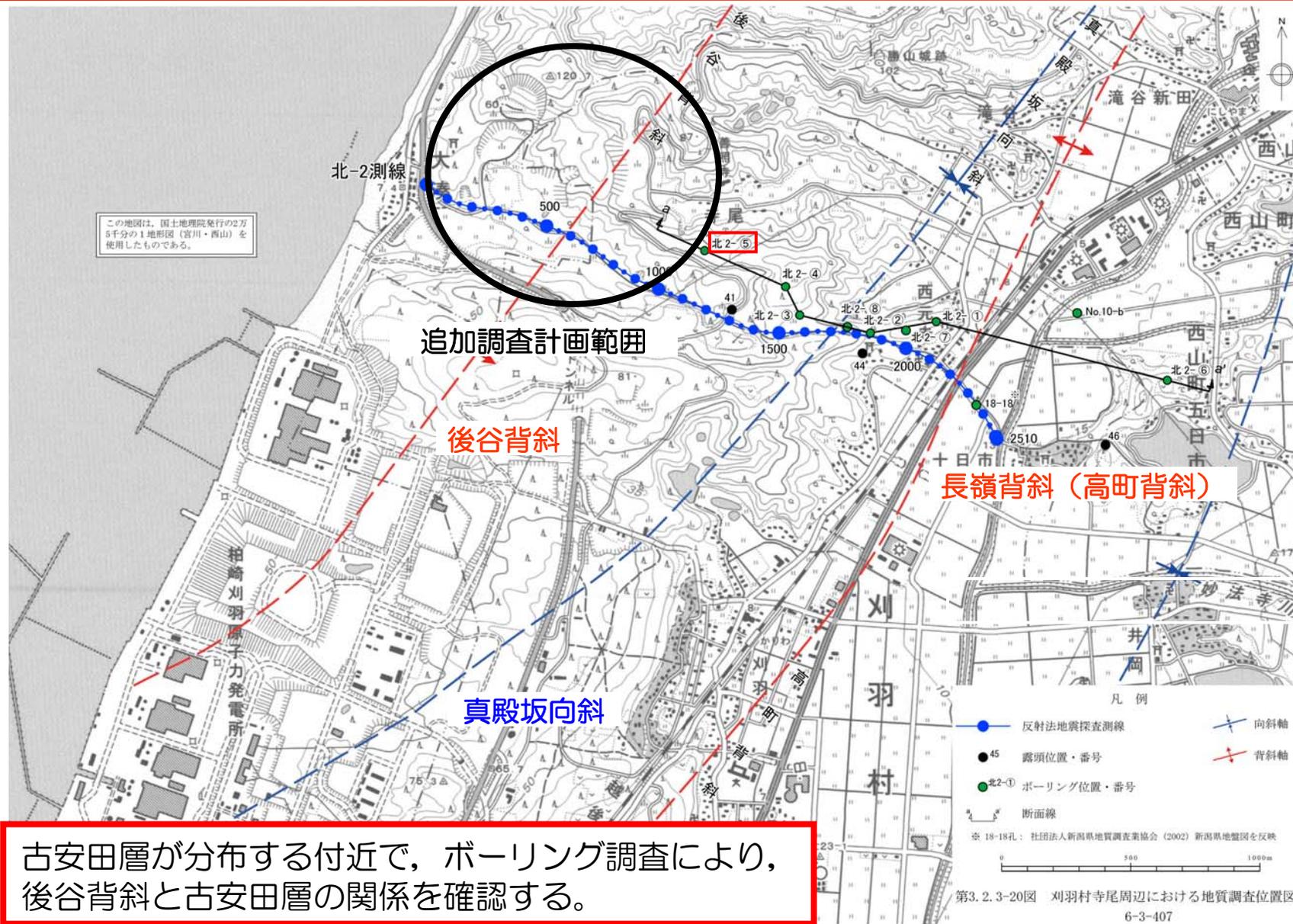


古安田層が分布する付近で、ボーリング調査を実施し、大湊側の古安田層を確認する。

【指示事項】

- 北ー2測線について、北2ー⑤ボーリング孔よりも西の区間、背斜・向斜を含む区間について、既存ボーリングの間隔を補完するように、稠密群列ボーリングを計画すること。

北2-⑤孔より西側の褶曲構造の活動性に関する調査計画（案）

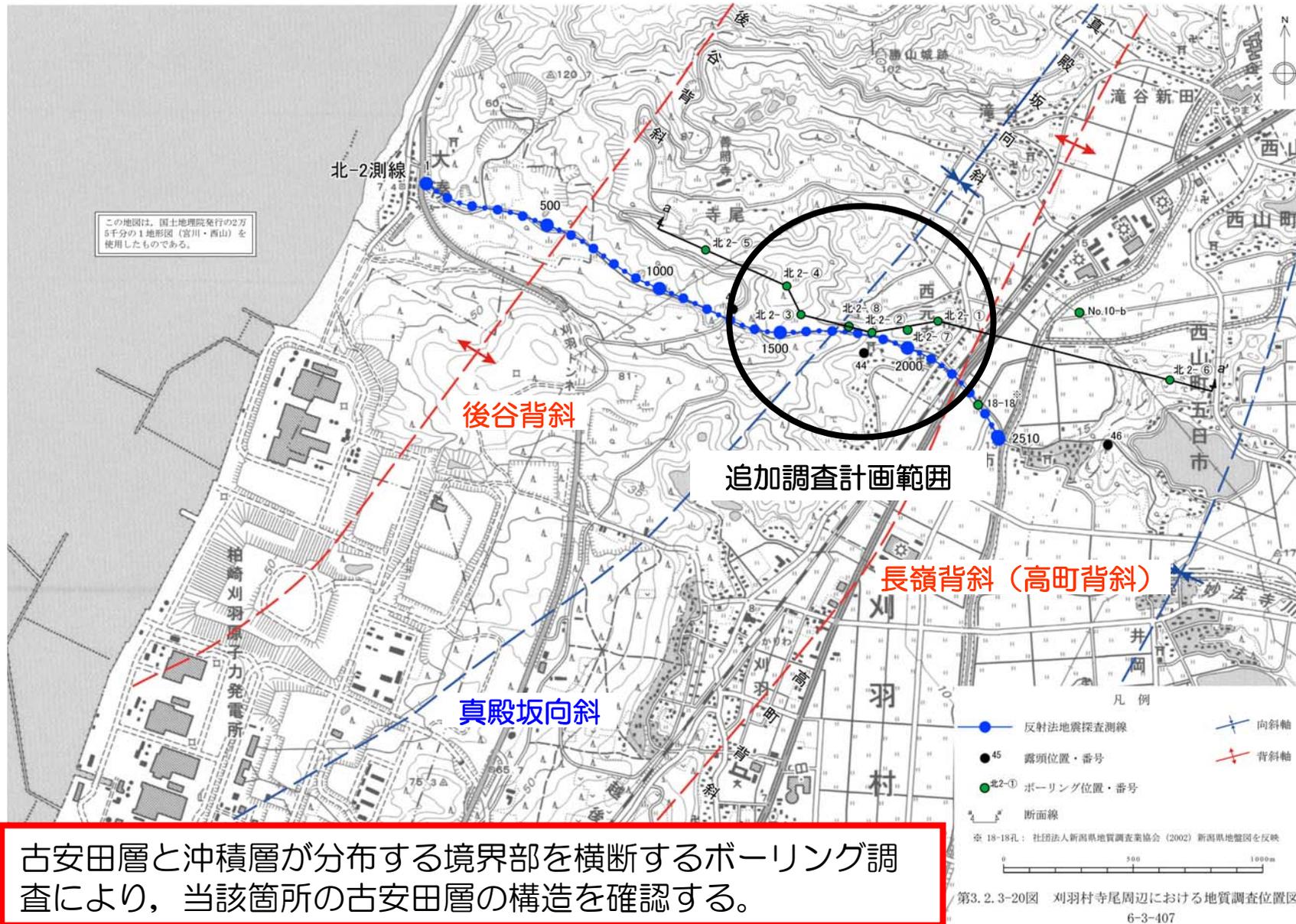


古安田層が分布する付近で、ボーリング調査により、後谷背斜と古安田層の関係を確認する。

【指示事項】

- 北-2測線について，古安田層と沖積層の境界部における古安田層の構造を明らかにする目的で，稠密群列ボーリングを計画すること。

古安田層と沖積層の境界部付近の構造に関する調査計画（案）



古安田層と沖積層が分布する境界部を横断するボーリング調査により、当該箇所古安田層の構造を確認する。

【指示事項】

- 寺尾付近の断層について、背斜軸付近の断層の有無を確認することを目的として、稠密群列ボーリングを計画すること。
- 寺尾付近の断層の活動性について、トレンチ調査などにより直接確認するため、上載層があって掘削可能な地点を選定して提示すること。

寺尾付近の断層に関する調査計画（案）



ボーリング調査及びトレンチ調査により、寺尾付近の断層の性状及び形態を確認する。

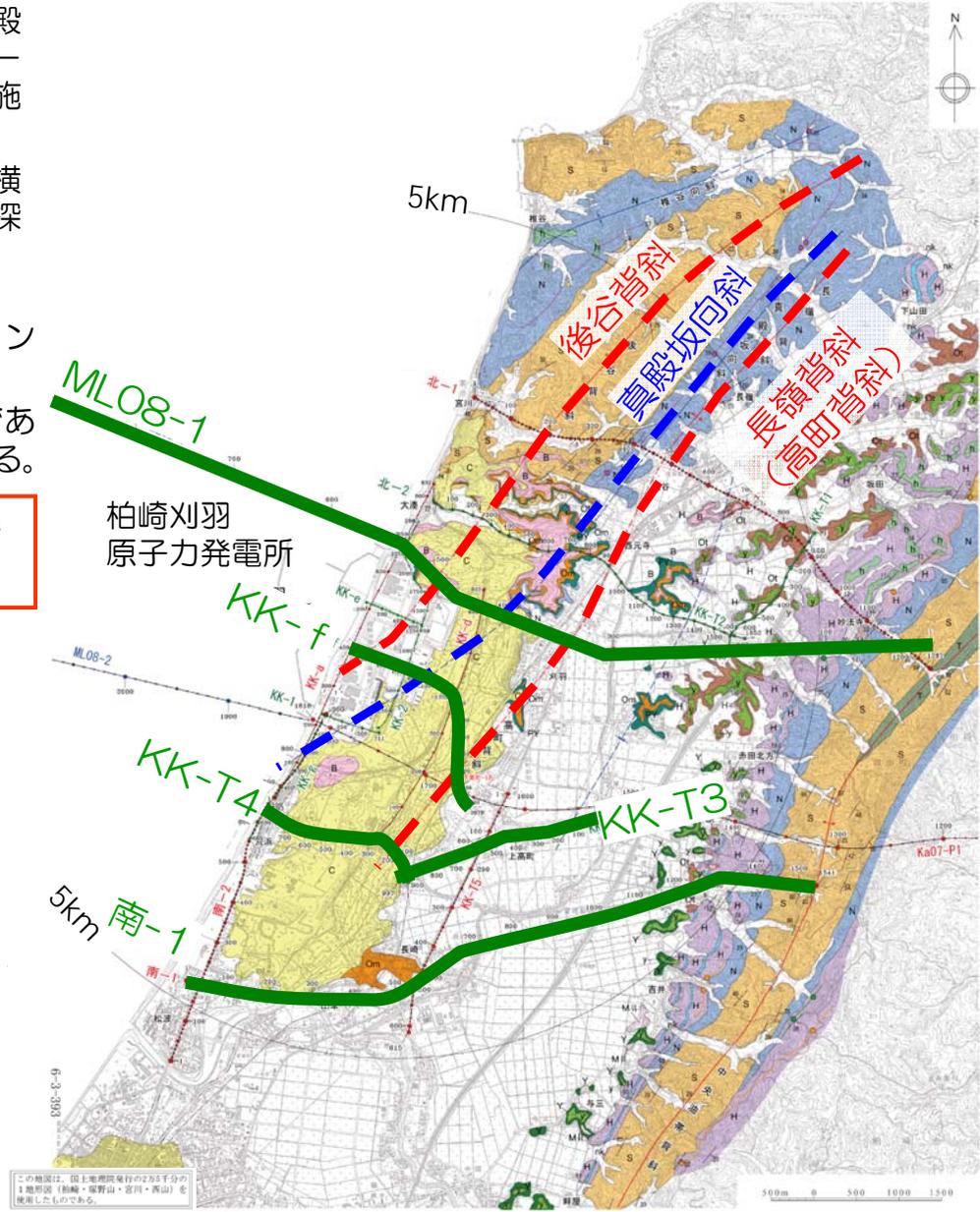
【指示事項】

- 長嶺背斜（高町背斜）の活動性を確認するため、ML08-1，KK-f，KK-T4，南1測線において浅層反射法地震探査，稠密群列ボーリングを計画すること。

既往反射法地震探査測線の位置

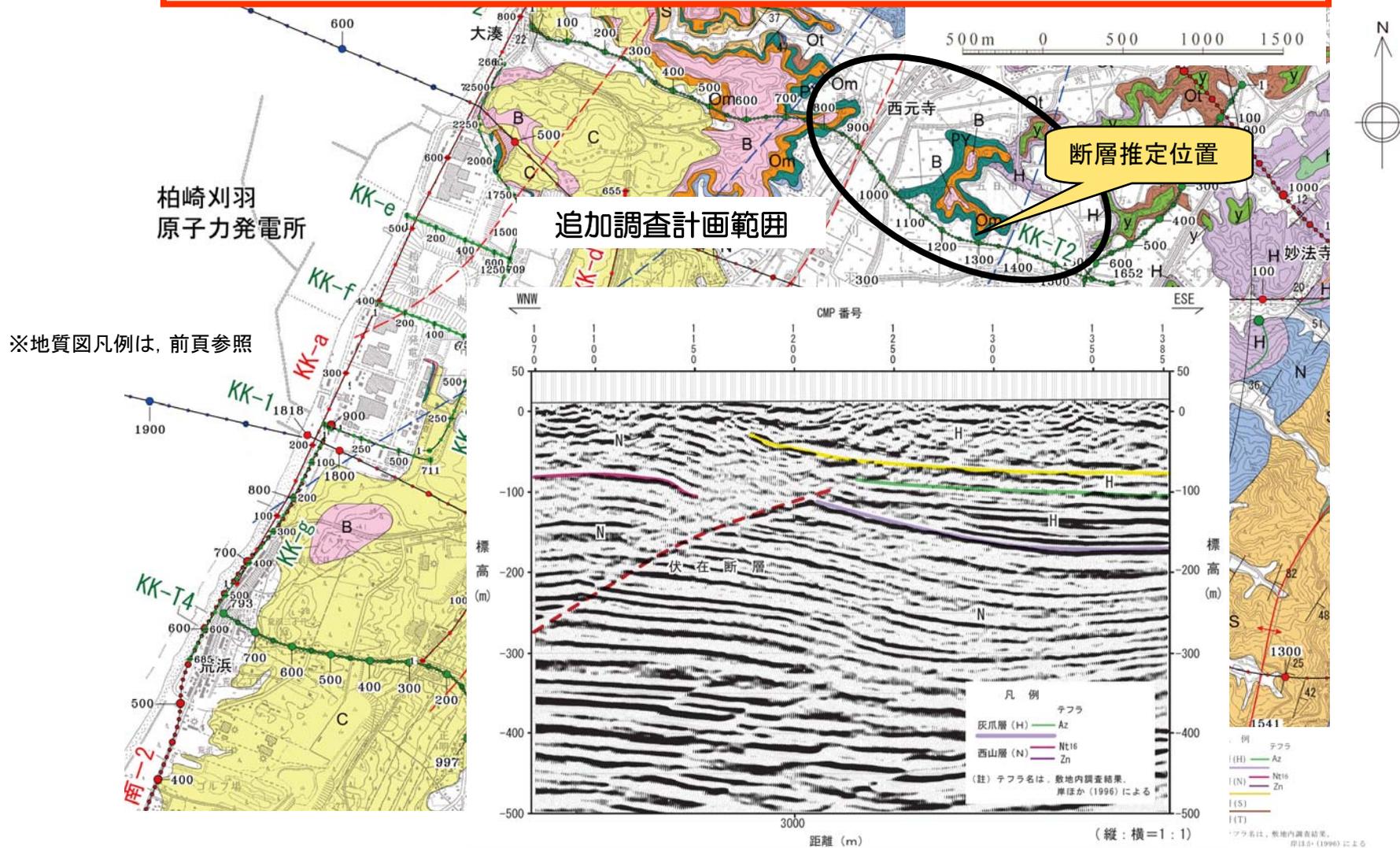
- ML08-1線は、敷地の北側に位置し、後谷背斜、真殿坂向斜、長嶺背斜を横断する測線である。バイブレーター4台とエアガンで反射法地震探査及び海上音波探査を実施している。
- KK-fは、敷地内に位置し、後谷背斜、真殿坂向斜を横断する測線である。油圧インパクター1台で反射法地震探査を実施している。
- KK-T4測線及びKK-T3測線は、敷地の南方約2.5kmに位置し、長嶺背斜を横断する測線である。油圧インパクター1台で反射法地震探査を実施している。
- 南-1測線は、敷地の南方約3.5kmに位置する測線である。バイブレーター1台で反射法地震探査を実施している。

これらの測線付近で長嶺背斜（高町背斜）と古安田層の関係を確認出来る位置で追加調査を計画。



長嶺背斜（高町背斜）の活動性に関する調査計画（案）①

古安田層が分布する付近で、浅層反射法地震探査とボーリング調査により、長嶺背斜（高町背斜）と古安田層の関係を確認する。



※地質図凡例は、前頁参照

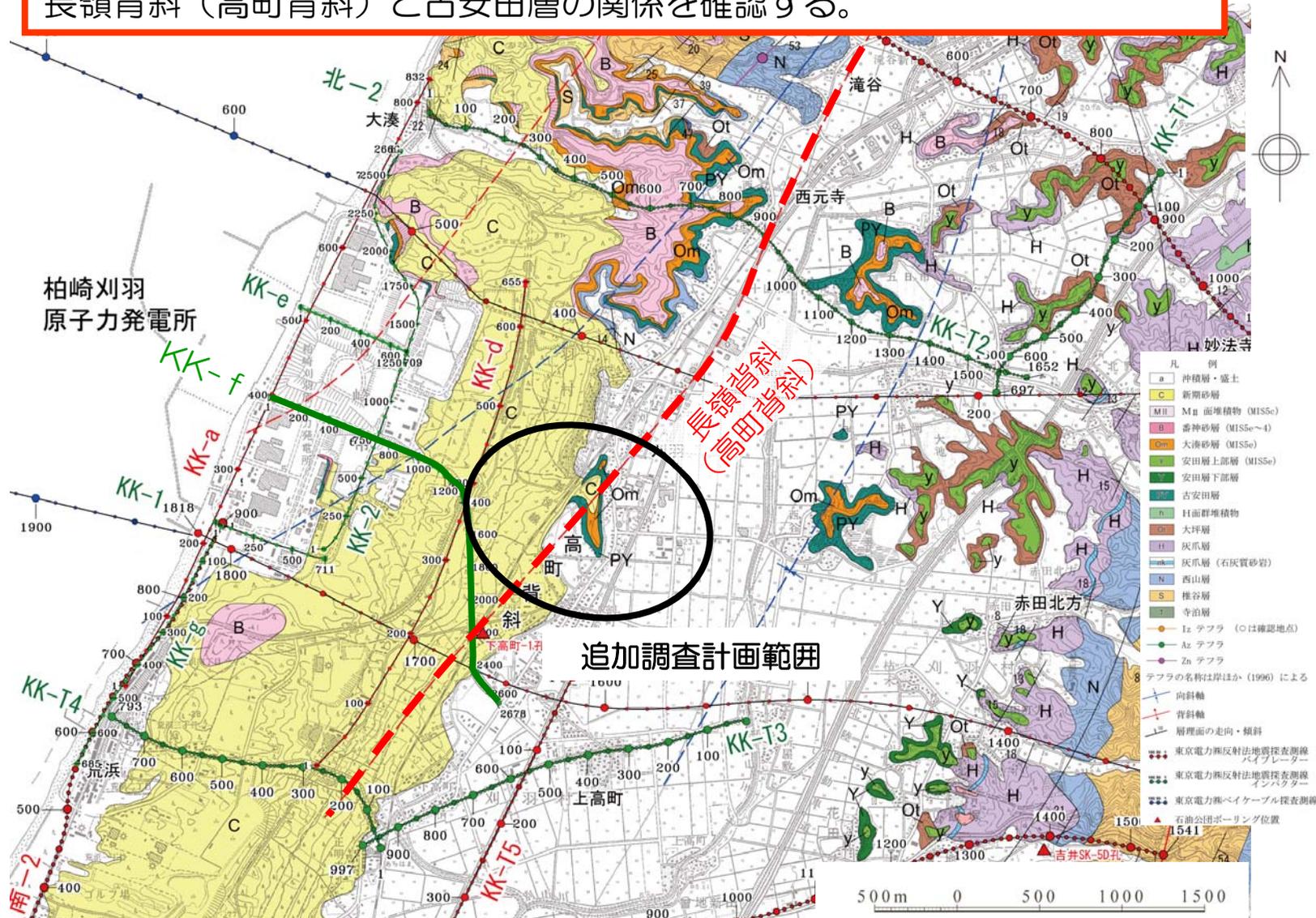
北-2・KK-T2測線の深度断面とその解釈図（浅部拡大）



※現地の状況に応じて、詳細な調査位置・数量等については変更する可能性がある。

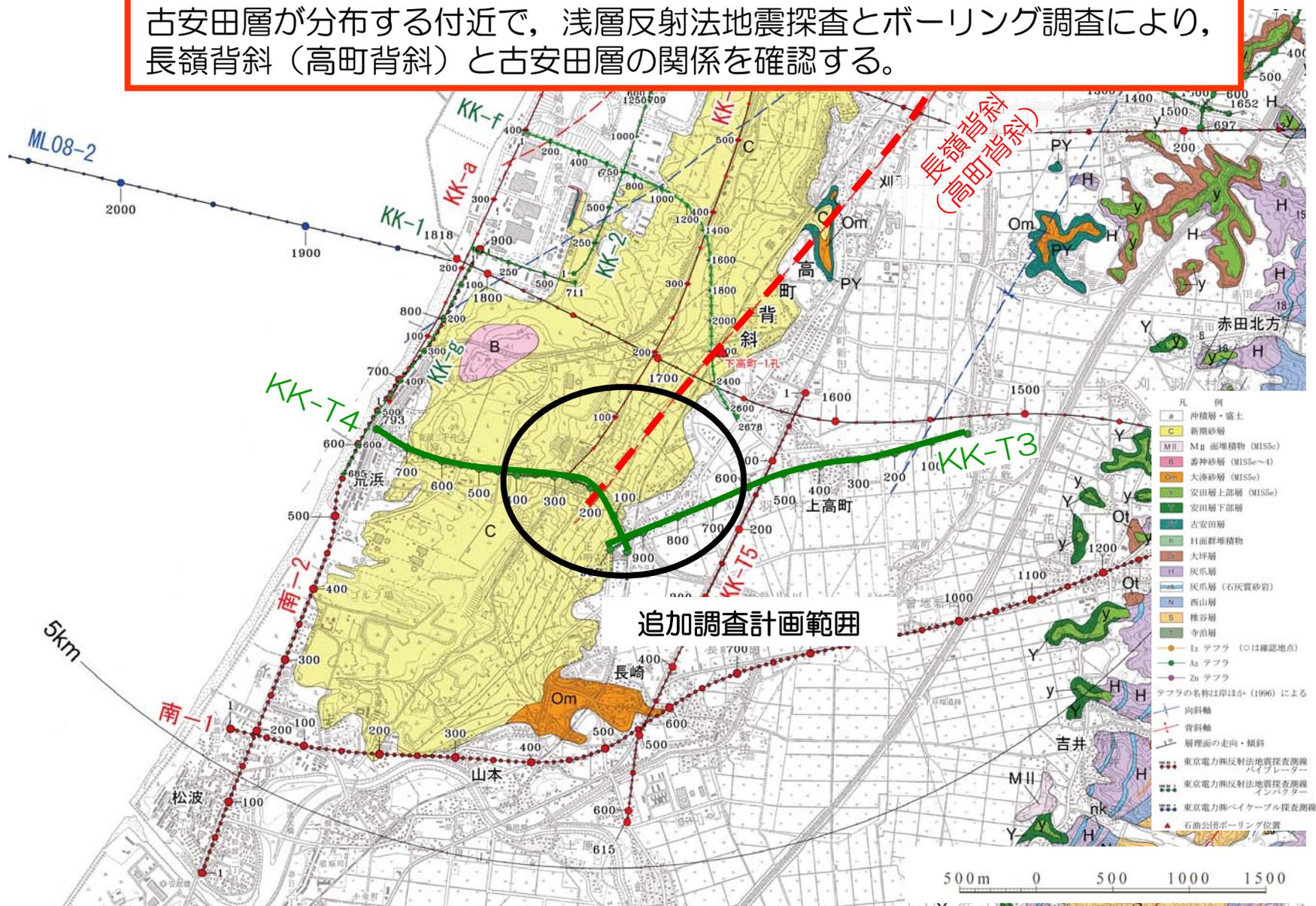
長嶺背斜（高町背斜）の活動性に関する調査計画（案）②

古安田層が分布する付近で、浅層反射法地震探査とボーリング調査により、長嶺背斜（高町背斜）と古安田層の関係を確認する。



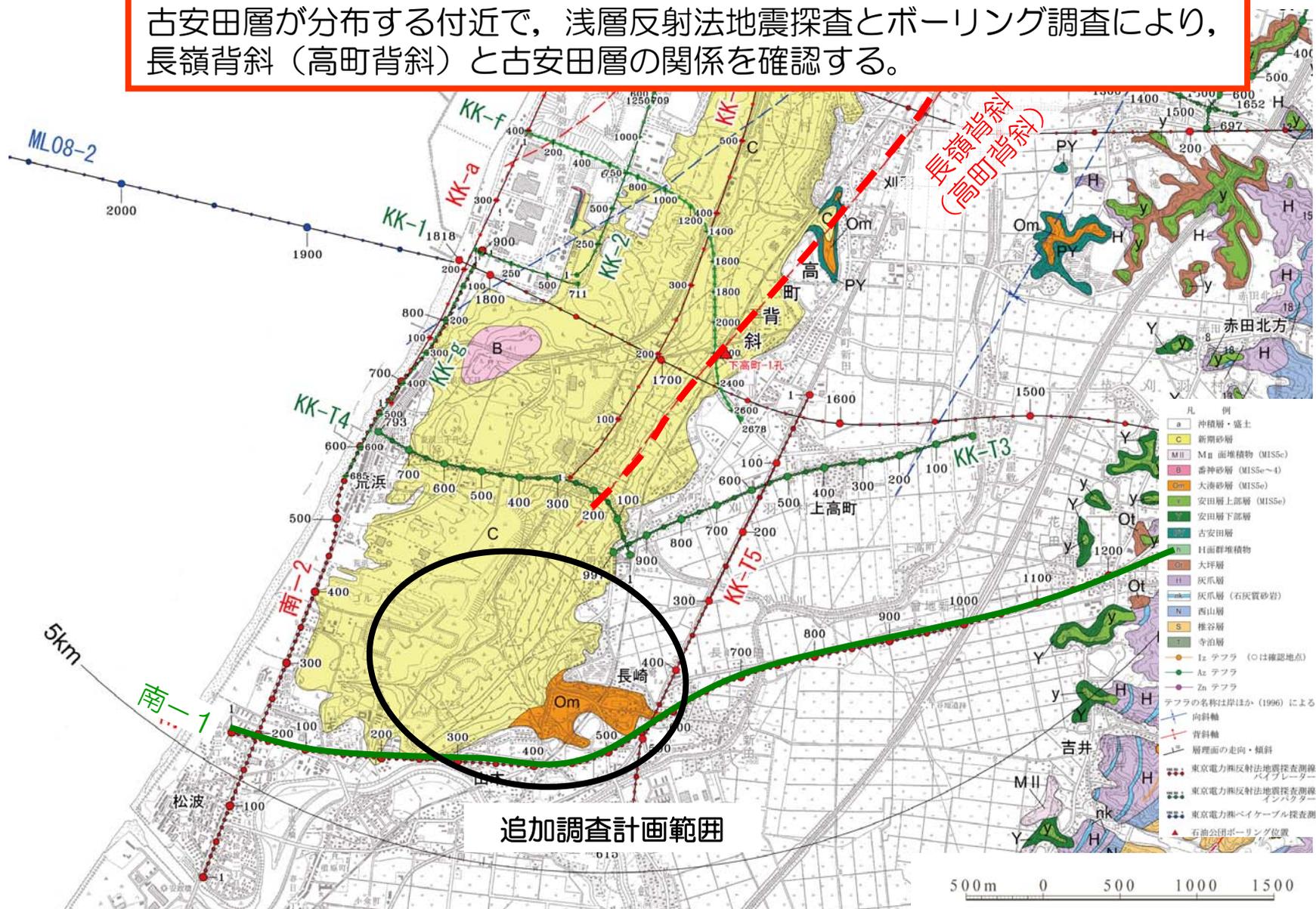
長嶺背斜（高町背斜）の活動性に関する調査計画（案）③

古安田層が分布する付近で、浅層反射法地震探査とボーリング調査により、長嶺背斜（高町背斜）と古安田層の関係を確認する。



長嶺背斜（高町背斜）の活動性に関する調査計画（案）④

古安田層が分布する付近で、浅層反射法地震探査とボーリング調査により、長嶺背斜（高町背斜）と古安田層の関係を確認する。



敷地近傍における追加調査計画（案）概要位置図

